

タイトル

食育に資格は不要！資格講座の恐ろしい裏側をバラします...【ラスト6時間】

【食育の方程式】は、  
あと6時間で募集が終わります。

タイマーが切れると  
自動的に案内が見れなくなるので  
ご注意くださいね。

案内はこちらです。

↓

レターURL

実はメールの読者さんから、

「悠さんの講座は資格も取れるんですか？」

という質問をいただきました。

結論から言うと、

「僕の講座で資格はとれません。  
なぜなら、食育に資格はいらないと確信しているからです。」

これが僕の答えです。

「え、世の中には食育の資格講座がたくさんあるのに！？」  
って思いますよね。

なので、  
僕がそう確信するようになった理由を  
これからお話していきます。

「せっかく学ぶなら、資格も取れた方がお得な気がする」とか  
「資格を取るって目標があると、勉強を頑張れると思う」  
そういう人はぜひ読んでみてくださいね。

さて、  
僕が食育に資格はいらないと思うようになったのは、  
とある人との出会いからでした。

その人はFさんと言って、  
子どもが将来食べることで困らないように  
食育の勉強を頑張って資格を取りました。

資格を取ってからは  
毎日栄養バランスを考えて食事を用意していたし、

食事マナーにも厳しくて、週に1回食事風景を動画で撮って  
細かく子どもに指導していました。

さらに、  
料理が美味しく見えるように彩り良くしたり、  
子どもが食べやすいように持ちやすい食器を選んだり。

でも、こんなに食育を頑張っていたFさんの食卓は、なぜかいつも暗い雰囲気。

「料理の味が薄い...あんまり美味しくないし食べたくないな...」

「ブロッコリーも人参ももういらぬ...！ハンバーグだけ食べたいのに...」

「箸の持ち方がちょっと悪いと、すぐにママが怒るからいやだ...」

そんな子どもの声がしていました。

でも、Fさんは

「資格まで取ったんだから、私のやってる食育は間違っていない！」

と、子どもの不満にフタをして  
学んだことをそのまま実践していました。

そんな日々を続けていくうちに、  
Fさんの子どもは食べることがイヤになって  
食べる量も少なくなってしまうそうです。

結局、頑張って勉強したことが、かえって子どもの食べる意欲を失うことになってしまいました。

「子どもの笑顔のために勉強してきたのに、食育の知識を活かそうと一生懸命になるほど、子どもの笑顔が無くなっていくんです...」

「食育の資格があれば、自信を持って子どもの食事を考えられると思ってたんです。  
でも、実際は食事を嫌がるようになってしまって...  
資格まで取ったのに、むしろ母親としての自信がなくなってって、毎日がしんどいです...」

Fさんは僕に、そうつぶやきました。

なぜFさんは後悔することになってしまったのか？

理由は簡単で、

「学んだことをそのまま実践することだけ考えていたから」

なんですわね。

『食事はバランスが取れているべき』

『家庭でもマナーは守るべき』

『体にいいものを食べさせるべき』

そんな『べき』に取り憑かれて、  
本来の「食事を楽しむこと」ができなくなってしまったんです。

それって悲しいことですわね。

子どものためにと頑張って勉強して資格まで取ったのに、

それが原因で子どもの食体験を台無しにしてしまうなんて。

僕はFさんの話を聞いて、  
学んだ知識を効果的に実践できるようにすることが  
どれだけ大切なことかわかりました。

どれだけ知識を増やしても、  
学んだことを効果的に自分の子どもに実践できないと  
意味がないんです。

でも、  
資格講座である以上は、  
テストに合格しないと資格はもらえません。

そうすると、  
テストに出そうなところを学ぶことになるので  
よりリアルな内容はあまり学べないんですね。

なので、  
いざ子どもを目の前にするとどうしたらいいかわからなくなるし、

なまじ知識はあるので  
「ああしなきゃ、こうしなきゃ」  
と知識に振り回される食事になってしまいます。

だから、  
Fさんの話を聞いて、  
食育の資格を取っても  
家庭で活かせないんじゃないよなって思ったんです。

結局、資格講座は  
理論を人に教えるための勉強だったり、  
自分が料理を作るための勉強だったりと

「家庭で自分の子どもを相手に食育をする」

この目線で教材が作られていないんです。

でも、僕の講座は違います。

僕の講座では資格は手に入りませんが、  
そのかわり家庭で実践できる内容を詰め込んでいます。

知識は実践できて初めて役に立つので、学んですぐに使える内容にこだわって作りました。

それに、講座には2回の通話サポートと、専用LINEでの質問権もついています。

僕がここまでやるのは、  
あなたの家庭で、本気で子どもの食の問題を解決してほしいからです。

資格講座は試験に合格するための質問には答えてくれますが、それぞれの家庭で食育を実践する時の疑問には答えてくれません。

それって親切じゃないよなって思うので、  
今回サポートも力を入れています。

やっぱり参加してもらうなら、結果を出してもらいたいですからね。

つまり

子どもの食の問題を解決することに  
資格があるかどうかは関係ないのです。

子どもが  
「ママは食育〇〇だから野菜食べなきゃ！」  
とはなりませんからね。

だから、もしあなたが  
「家庭で食育をしたい」と思うのなら

成功のカギはあなたが資格をもっているか？ではなくて

- ・目の前の、自分の子どもに活かせる知識があるかどうか？
- ・困った時に相談できる専門家がいるかどうか？

だけなんです。

そして、僕の講座には  
この2つが揃っています。

ぜひこのチャンスを活かして、  
子どもの食の不安から解放されてください。

案内はこちらです↓

レターURL

P.S.

ちょっとだけ、こわ〜い裏話。

食育の資格講座って  
検索したらいっぱい出てきますよね。

実はあれ、食育の法律ができた時に  
ほぼ同時期に作られたものなんです。

国が食育の仕事を助成するっていう話が出たことがあって、  
その助成金めあてに食育の講座がいっぱいできました。

だから「食育」って名前がついてるだけの講座がたくさんあるんですね。

あと、  
「食育の資格を持ったら仕事になるかも」  
とっていたら気をつけてください。

残念ですが、  
食育の資格だけを持っていても  
残念ながら仕事につなげるのは難しいです。

例えば、  
ごく一般的な主婦が食育の資格を取ったとして、  
果たしてその人に食育教室や食育セミナーの依頼が来るでしょうか？

残念ながら来ないんです。

やはり国家資格を持っていて、

指導実績があったり専門の教育を受けてきた人にそういう仕事が回っていきます。

なので、  
自宅で少し勉強しただけで取れる民間資格を持っていても、  
それだけで仕事にするのはほぼ不可能なんです。

やっぱり仕事としてやる以上プロでなければいけないので、通信講座だけでそのレベルまでいくのはどうしても限界があります...

だからこそ、  
まずは自分の子どもの食育に集中して  
生活が変わる感覚を味わってもらえたらなと。

もう一度案内ページ置いておきますね。

レターURL

ではでは。